

モリソンが会話テキストに書いた中国語

Dialogues and detached sentences in the Chinese Languages
(Macao 1816) について

How did Morrison analyze Chinese language
in the “*Dialogues and detached sentences in the Chinese Languages*”

塩山正純

SHIOYAMA Masazumi

愛知大学国際コミュニケーション学部

Faculty of International Communication, Aichi University

E-mail: shioyama@vega.aichi-u.ac.jp

概要

马礼逊的著作《*Dialogues and detached sentences in the Chinese Languages*》(1816) 是 19 世纪西洋传教士的最早一本汉语会话课本，它主要是针对汉语官话的。该书由会话例句的两个部分构成，会话部分一共有 31 章 224 页。会话部分的内容一半是 East India Company 提供的与生意有关的实用会话，另一半是摘自白话文学作品。本文主要针对马礼逊在会话部分记载的汉语表现，从语音、词汇、语法结构、词类等诸多方面进行了分析，分别对个别词汇加以解释的。

关键字：马礼逊 传教士的汉语研究 汉语会话课本 官话 语音 词汇

0. はじめに

19 世紀になると、中国では欧米諸国との交易が盛んになり、コミュニケーションの必要性から、欧米人によって中国語テキスト類が出版されるようになった。これらの教材は主にプロテスタント宣教師によってつくられた。その嚆矢は Morrison が 1816 年にマカオで出版した *Dialogues and detached sentences in the Chinese languages* であり、Wylie 1867 にも最初の会話テキストとして紹介されている。アヘン戦争後、1842 年に南京条約が結ばれ、中

国と欧米の接触が増した 19 世紀の 40 年代以降は、さらに中国語の教材が続々と出版されるようになった。

1. Morrison について

Robert Morrison は、1782 年にイングランド北部ノーサンプランドに生まれ、16 歳で洗礼を受け、所属教会の牧師について学問に励んだ。1803 年にロンドンに出てホックストン・アカデミーに学び、1804 年に海外伝道を志してヴォーグアカデミーに移った。その後、中国人の容三徳から中国語を学んだ^①。1807 年にイギリスを出発し、アメリカを経て広州に到着した。そして聖書の中国語訳を開始し、1810 年に「使徒行傳」の中国語訳を完成した。1813 年には新約聖書、1819 年には聖書全文の中国語訳を完成させた。この間、1815 年に『通用漢言之法』^②、1823 年に『英華字典』と『神天聖書』を完成し出版したのち、1834 年に死去した。その生涯については、モリソン夫人による伝記や蘇精ほかの先行研究に詳しい^③。

2. この会話テキストについて

この会話テキストは、1816 年にマカオで出版された。表紙タイトルページに著者名はないが、序文の冒頭に「以下の本文の翻訳については、ロバート・モリソン師によって、その中国語研究の初期に行われたものである」と記述されている^④。また、序文で出版目的について直接の言及はないが、のちに上海で出版された Medhurst のテキストに「モリソンの会話集が絶版になって久しく、この間の国際的な商取引は、モリソンの会話集が出版された時期と比しても、益々拡大している。よって、このような会話集の出版が急務であった」とあることから^⑤、この最初の会話テキストの目的出版も、商取引における中国語の必要性であったと言えよう。

2.1 会話集の収録内容

会話集はそのタイトルに“Dialogues and detached sentences”とある通り、大きく分けて会話の部分とフレーズおよび付録の部分の 2 項目で構成されている。会話部分は 1～224 ページまでのあわせて 31 章で、フレーズと付録は 225～262 ページ（このうち文は 225～241、付録は 242～262 ページ）のあわせて 16 項目から成っている。掲載された会話文のうち、計 10 章については、とくに出典は明記されていないが、実は「3 章 Mandarin and Visitor（綴白裘・釵釧記・謁師）」をはじめ中国語の作品を引用していることが分かった^⑥。当該の章とその原典は以下の通り、いずれも白話で書かれたものである。とくに 3 章の“Mandarin and Visitor”は 39 頁を費やしており、雑劇の「唱」の部分も含まれている。

序文にあるように、会話部分のうち「2章 With a Tea Merchant」など「† (つるぎ)」印が付く計14章は、東インド会社重役のある人物から提供されたもので、国際間の商取引での中国語の必要性から、Morrison 以前にすでに社としてストックされていたものであると思われる^⑦。「† (つるぎ)」印のない17章のうち、中国語の作品からの引用が確認できなかったものは「1章 With a Shopman and Visitor」など7章である^⑧。

このように、全31章は、(1) 東インド会社から提供された14章、(2) 中国語の白話の文学作品から引用された10章、(3) それ以外のモリソンが選択・作成したであろう7章にまとめることができる。(1) では紅茶商人や使用人、買弁との会話、比較の表現、船・綿・泥棒の逮捕に関する話題があり、とくに中国における訪問の作法に関して3章を割いている。このほか広東と船の火事に関する公文書が2章ある。いずれも商売を主たる目的として中国に滞在するひと向けの事柄であろう。(3) については、店員・教師との会話、綿や絹の取引や中国の宗教事情に関する会話などで、(1) の内容を補足している。

つぎに、sentence には58の故事成語などが列挙されている。『論語・子路』第十三篇「子曰毋欲速毋見小利欲速則不達見小利則大事不成」など個々にそれぞれの典拠はあるが、概して「廣積不如教子，避禍不如省非。」や「痴人畏婦，賢女敬夫。」のように清代に周希陶によって編纂された『増広賢文』に採録されているものが多い。

付録部分では、重さの表わし方、尺寸、中身(容積)の表わし方、土地の面積の表わし方、勘定書きのフォーム、時間の表現、還暦のサイクルの表、中国の乗算表(九九)、招待状などのカードのひな形、手紙の宛名の書き方のひな形、手紙の本文のひな形、政府への陳情書のひな形、布告文のひな形、手形のひな形、正月の祝いの挨拶のひな形が順に掲載されている。これら付録のうち“花甲子”(還暦)、“九九合數”(九九)が各々、メドハーストの会話集の初版でCycle of years と Multiplication table として掲載され、2版では“花甲子”(還暦)のみが、Cycle of sixty years として掲載されている。ちなみに、時間表現に関する記述について、本文の会話部分では「18-04 官家或是今早四鼓時便進朝裡去…… (this morning early at the fourth beat of the drum, he …)」のように“鼓”で表しており、付録では「Tsze 子 11 till 1 o'clock」ように十二支による説明のみである。ちなみにメドハーストの2版では「夜十二點鐘即半夜起稱為子正 (Beginning with 12 o'clock at night, that is mid-night, the hour is called mid "tsze".)」のように西洋式の時間表現になっており、50年のうちに表現が変化した様子が窺える。

2.2 会話集の構成

体裁は、まず冒頭に英語の文があり、その下に縦書きで中国語の対訳が置かれている。漢字1字ごとに、その発音と意味を記している。縦書きの漢字の左側にローマ字で発音表記があり、右側に漢字1字毎、あるいは単語毎に英語の単語が付されている。

冒頭に序文と目次はあるが、語彙索引や部首一覧、漢字の索引等のツールは一切なく、会話と単文中心のかなり簡素な構成になっている。東インド会社が出版に大いに関与していることから、商取引をはじめとする中国人とのコミュニケーションの需要が高まったため、商取引に関する概説部分が増補され、数、度量衡、通貨に関する記述が2版では詳細になる。

3. 会話集の中国語

官話をさす Mandarin とは 17 世紀西洋人来華宣教師による表現で、政府の役人、あるいは彼らが公的な場面で使用したことばのことである。伊伏 2008 によると、モリソンは『通用漢言之法』の序文と本文で、「宮廷における発音でマンダリンと呼ばれるもの、中国では官話と呼ばれるものは、各省の方言と異なり、中国人は『官話』を各省共通で使用されていることばと発音と定義している」と述べ、「官話が帝国における正式かつ一般的、普遍的な言語である」としている⁹⁾。その上で、該書 5～18 頁の音節表で英語とポルトガル語の発音に基づいた官話の発音を表記している。そして、会話テキストは、基本的に『通用漢言之法』が定義する官話の発音に基づいて表記されている。

3.1 発音の表記について

漢字の発音表記については、Giles はその華英字典で、先行の字典の発音表記について、「(Medhurst は) 基本的に Morrison の方法を踏襲しており、ほとんど一致している。Morrison は無気音を示さなかったが、Medhurst は省略や誤りもあるものの、この点は改善している」と指摘しているが、会話テキストにおける発音表記も基本的には一致している。

1) 声母について

Wade 1867 『語言自邇集』は“w, y”を含めて、声母を [ch, chʰ], f, h, hs, j, [k, kʰ], l, m, n, [p, pʰ], s, sh, ss, [t, tʰ], [ts, tsʰ], tz, w, y] の 23 種に分類している¹⁰⁾。遡って、Medhurst の *Chinese and English Dictionary (1842-1843)* は、“y”を含めて声母を [ch, chʰ], f, g, h, j, [k, kʰ], l, m, n, [p, pʰ], s, sh, [t, tʰ], [ts, tsʰ], y (g は a, e, o につく)] の 20 種としている。Morrison は『通用漢言之法』では、声母を [ch, f, g, h, j(=i), k, l, m, n, p, s, sh, t, ts] の 14 種に分類し、基本的には無気音と有気音の表記を区別しなかった。しかし、会話集では、例えば [ch] を [ch, chʰ], [k] を [k, kʰ] に区別し、例えば「該, 敢」は [k], 「開, 看」は [kʰ] としている。但し、[p] については区別していない。

2) 韻母について

会話テキストの韻母の表記は『通用漢言之法』(1815)と表記に若干の差異もあるが、基本的には一致しており、のちの Medhurst もこれと同様である^①。

a, ae, ah, an, ǎn, ang, ǎng, aou, ay, ǎy

e, ě, ea, eae, eang, eaou, eay, ee, ěě, eĕn, ěen, ei, en, eō, eu, eū, euĕ, euen, eun, eung, ew

in, ing と入声音の ih

o, ō, oo, ow,

u, uĕ (=uo?), uen, un, ũn, ung, ũo, uy, ũy 及び urh

wa, wǎ, wae, wan, wǎn, wang, wǎng, we, wei, wo, wō, woo, wūy

このほか [y] で始まるものと該当する漢字は順に以下のとおりである。

ya, yae, yang, yaou, yay, yen, yew, yin, ying, yō, yu, yuĕ, yuen, yun, yung

“亞、佞、洋、要、夜、言、有、因、影、魚、月、圓、雲、用” など。

また、『通用漢言之法』(1815)では「攘、日、然、仍、人、若、如、柔、懦、潤、冗」がそれぞれ [iang, ie, ien, ieng, iin, iō, ioo, iow, iuen, iun, iung] と表記されているが会話集ではいずれも [j-] になる。

Edkins 1857 には「多くの官話話者はあらゆるケースで語頭の a, e, o の前に ng を付け加える。g が ng に置き換わることがある」とあるが、『通用漢言之法』(1815)では例えば、「奥、我」が [gaou, go] と表記され、「安」が [ngan] となっている。会話集では、「安、恩」の語頭の母音の前に [g] がついて [gan, gǎn] 少なくとも表記の上では、「g → ng」のケースは見られない。

Medhurst はテキスト序文で「官話に基づく」と明記している。Morrison はその点に触れていないが、表記が Medhurst のものとほぼ一致し、文法書の音節表における英語に基づく官話の発音表記と、無気音と有気音の区別以外のところは一致していることから、この会話集でも Morrison の認識している官話の発音が表記されていると言えるだろう。

3. 2 語彙の特徴について

収録内容 (2. 1) でも触れたように、会話部分の全 31 章は、戯曲や小説などの白話文学作品からの引用、東インド会社から提供されたもの、モリソンが作成したと思われるもの、の 3 つに分けることができる。よって、それぞれで語彙の特徴が異なっても不思議ではない。その点も考慮しつつ、このテキストが全体として、どのような語彙を使っているのか、そのあらましを見てみたい。なお、各例文冒頭の数字は章と文の番号 (例えば: 03-15 は 3 章の 15 番目の文) である。

3. 2. 1 モリソンの中国語研究の特徴とそれに関連することから

(1) 人称について

モリソンは『通用漢言之法』で人称代詞について、“我、你、他”と複数の“我們、你們、他們”などを挙げたうえで、その他に“伊、渠、咱們”，書面語で“余、予、吾、俺、爾、汝”，複数語尾には“等、輩、儕、偶、曹”があると述べている。さらに“I, you”を言うとき、多くの場合に一人称では“小的、蟻、商人、敝職”など、二人称では“尊駕、老爺”などを用い、さらに“my”では“家、舍、敝、賤”，“your”では“貴、令、尊”を用いると記述している¹²⁾。

会話集では、“我、你、他”と“我們、你們、他們”は使われているが、その他『通用漢言之法』で挙げられているものでは僅かに“吾、吾輩、我等、你等”（2例，1例，1例，1例）しかない。とくに3章の脚注では「家、下官、下職、卑職、大人、學生、晚生、令正、令夫人、令寵、妾氏」など、かなりの箇所で身分を表す呼称が、人称代詞としての役割も持つことが指摘されており、このほか本文中には“官兒、家爺、小官、難門生、老爺、賢契、恩師、難生、敝門生、令岳、奶岳”などもあり、いずれも逐語訳あるいは全文訳で“I, you, my, your”などが充てられている¹³⁾。以下の用例は“相公”が1文の中で2つの意味を持っている場合である。

18-16 我相公回來若曉得相公來……

(我 My 相公 Master 回 back 來 come 若 if 曉得 know 相公 Sir (you) 來 come)

(2) 「～得很」と「～得+形容詞」

Morrison はテキストの第1の脚注で「中国語では各文字と音節が、それに付された確定的な意味を持っている、ということは一般的なルールではある。しかし、2つ以上の文字が接合して、読む者を悩ますというようなケースが非常に多く、そして実際に、西洋の多音節語と同様に、複合語が形成される。一般的に、複合語の意味はいくつかの構成要素である文字から自ずと形成される。また別の場合には、それぞれの意味は非常に見え辛くなるか、または完全に無くなってしまう。得 Tih 「得る」、狼 Hān 或は很 Hān 「犬が戦う、または人々が口論する雑音」はひとまとまりになって、最上級の意味を形成し、不鮮明な複合語の例となる。」と指摘し、所謂“compound word (複合語)”を理解して使いこなすことの困難さを示唆している¹⁴⁾。会話書には以下のような用例があり、いずれも“得很”を一括りに扱っている。()内は逐語訳で、「/」がある場合、後者は訳文の該当部分である。

01-06 久違你一向得意^{得很} (得很 in a high degree / very well)

02-07 我多謝你^{得很} (得很 very / I am much obliged to you – thank you)

02-12 ……惟今年因熱^{得很}…… (惟 but 今 this 年 year 因 because 熱 hot 得很 very)

04-02 請了違教^{得很}近來實在納福 (違 separated from 教 instruction 得很 very (much))

- 08-05 我見那一隻船是大得狠 (大 large 得很 very)
 12-14 這些惡人實在糊塗得狠…… (實在 really 糊塗 stupid 得很 very)
 21-08 ……托庇方纔尊兄光降失迎得狠見恕見恕 (失 lose 迎 meeting 得很 extremely)

同じように“得”によって程度を表すものでも、後ろが形容詞の場合は、「得+α」の形の「複合語」の扱いにはならず、「動詞+得」あるいは“得”単独の扱いである。

- 01-09 是呀今年洋船如何來得遲往年已經早到了…… (來得 come 遲 late / so late)
 08-07 但不知他走得快麼 (走 go (sail) 得 can 快 fast)
 08-08 我聽說他走得慢 (走得 goes 慢 slowly)
 13-04 來得多就賤來得少只怕就要貴 (來得 come 多 much 就 then……來得 come 少 little……)
 18-27 ……他明日要收拾起身忙得緊…… (忙得 hurried 緊 apprehend)
 26-42 ……若是唱得好多多週濟你們 (若 If 是 be 唱得 sung 好 well)

(3) 量詞

この会話集では「20-04 或說原本家寒貧為嫁兩小女預請先生教小兒……」のように量詞が使われない場合もあるが、概して量詞の用例がかなり多いと言える。

『通用漢言之法』では名詞の項目の冒頭で「量詞」の解説にかなりの紙幅をさいている。伊伏 2006 によると、『Numeral』と呼ばれる、一般に名詞の前か後ろに置かれる単語のクラスに注目することが適切であると述べ、中国語における「量詞」の重要性を指摘している。その上で「名量詞」について、「第」を伴う例や、指示代詞を用いた例、名詞を省略した形など、語順のパターンについても具体的に説明している^⑤。そして、第1の例文は“一隻船”で説明されている。この会話集は商取引の話題が比較的多く、話に船が出てくる回数も自ずと多くなり、船を数える量詞“隻”は、“個”以外では最多の14例がある。量詞単独で逐語訳が付されるケースがなく、いずれも前の数詞或は指示代詞とひと組になって、モリソンの記号の使い方の解釈からすれば「複合語」として扱われている。また、『通用漢言之法』で解説されている量詞の語順のパターンは一通り使われている。

1) “隻”の用例

数詞+量詞+名詞の例

- 09-08 你說知買辦找得一隻西瓜扁船帶這茶葉到船上去 (一隻 one 西瓜扁船 Chop-boat)
 23-05 查得近日友兩隻港腳船將要開行…… (兩隻 two 港腳 Country ship ships)
 23-06 大家議定就將銀子五百箱下了兩隻港腳船裡面 (兩隻 two 港腳 Country ship ships)

指示代詞＋数詞＋量詞＋名詞の例

- 08-05 我見那一隻船是大得狠（那 that 一隻 one 船 ship）
 08-09 我看那一隻船的尺寸不對（那 that 一隻 one 船 ship's）
 11-09 那兩隻艇到了城你即告訴我知道就是了（那 Those 兩隻 two 艇 boats）

指示代詞＋量詞＋名詞の例

- 08-11 為因那隻船寬過分（那隻 that 船 ship (is)）
 08-14 ……那隻船是第一等的（那隻 that 船 ship / that vessel is a first rate.）
 11-03 那隻港腳船有紅牌出沒有（那隻 That 港 Bay 腳 foot > Country 船 ship）
 23-07 忽一日那隻港腳船失火了將船燒著（那隻 that 港腳 Country 船 ship）

数詞と量詞の後置も2例あり、これも“一隻、三隻”に“one, three”の逐語訳を充てている。

- 11-02 昨天有花旗船一隻到了（花 flower 旗 flag > American 船 ship 一隻 one）
 23-12 第二日大班即叫扁艇三隻將銀搬起……（扁艇 chop-boats 三隻 three）

2) その他の量詞

この会話書では、“隻”以外には、“個”の用例は極めて多く、その他“卷、篇、句、本、兩、斤、丈、尺、員、疋、雙、乘、位、箱”等の量詞も使われている。

つぎの例は、「(指示代詞＋)数詞＋量詞＋名詞」の語順に対して、それぞれに逐語訳を充てているもので、この会話書の中では稀なケースである。

- 15-01 請你念這一篇書（請 Thank 你 you 念 to read 這 this 一 one 篇 page 書 book）
 I will thank you to read this page.
 03-127 他心上狐疑與一個朋友商議（與 with 一個 a 朋友 friend 商議 consulted）

一方では、以下のように、量詞の“句”が後ろの名詞と一括りの「複合語」になって、“words”や“sentence”の意味を充てられている場合もある。

- 03-36 未免有幾句話兒談談那有不坐之理請請坐（幾 few 句話兒 words）
 05-15 纔剛說的那一句話請再說（那一 that 句話 sentence）
 05-16 我纔所說那一句話着不着（那一 that 句話 sentence）

また、同じ章のひと続きの文脈の中で扱いが異なる場合もある。

- 05-07 紅樓夢一本書我未曾見先生見過麼（一本 first volume 書 book）
 05-11 紅樓夢書有多少本（多少 how many 本 volumes）

05-12 共二十本書此書說的全是京話 (二十 Twenty 本 volumes 書 book)

“第”で順序を表す用例

15-17 ……上字指其第一卷下字指其第二卷就是了
(其 it's 第一 first 卷 part 其第二 it's second 卷 part)
Shang, points out the first part, and Hea, the second.

20-06 ……只第二個小子姿質好些……
(只 only 第 number 二個 two 小 little 子 son 姿質 disposition 好 good 些 a little)
The second has a pretty good disposition;

度量衡, 尺寸, 金額を表す量詞にはつぎのような用例がある。

09- 恐怕每擔要賣十六兩銀子 (十六 sixteen 兩 tales 銀子 money)

10-11 要六斤又要上好的酒…… (要 want 六 six 斤 catty)

14-06 長三丈寬三尺半價錢三十員
(長 Long 三 three 丈 ch'hang 寬 broadt 三 hree 尺 cubils (and) 半 half 價錢 price 三十 thirty 員 dollars)

14-08 若老爺中意我就減五員賣與你多減不能 (減 lessen 五 five 員 dollars)

10-05 要三疋白布 (要 Want 三 three 疋 pieces 白 white 布 cloth)

10-12 這疋布是很好的…… (這 This 疋 piece 布 cloth)

26-45 唱得好將 白米五斗銀子五兩與他們去罷 (白 white 米 rice 五 five 斗 tow 銀子 money 五 five 兩 tales)

その他

雙 10-11 ……又要一雙極好的襪子 (一 one 雙 pair 極 extremely 好的 good 襪子 stocking)

10-12 ……這雙襪子好不過的 (這 this 雙 pair 襪子 stockings)

位 21-40 ……你 這兩位令郎這麼聰明又勤功一定進學的…… (這 these 兩位 two 令郎 worthy sons)

箱 23-14 兩三天纔撈清總算止少去銀子兩三箱 (銀子 silver 兩 two 三 three 箱 boxes)

乘 03-48 這乘小轎是誰的 (這乘 This (mean) 小 small 轎 chair)

個 16-02 有三個教門 (有 Has 三個 three 教門 religions)

15-07 這兩個字有何分別 (這 These 兩個 two 字 charactors)

20-06 答說有兩個小兒一個不成器好嫖好賭不讀書……
(有 have 兩個 two 小 little 兒 boys; 一個 one 不 not 成 perfect 器 utensil)

- 01-12 是呀如若[這個時候]船不到各樣洋貨都是要貴的…… (這個 this 時候 time)
 06-07 你將[這個茶]倒過別的箱去 (這個 this 茶 tea)
 10-12 ……[這個鼻烟]昨天的不如今天的好 (這個 this 鼻烟 snuff)
 12-11 到底因[這個事]有憑凭據所以地方官纔肯定了他的死罪…… (這個 this 事 business)
 12-14 若是地方官不勤拿他們[這個地方]一定住不得 (這個 this 地方 place (to))
 20-06 ……還可望重完了[這個禮貌] (這個 this 禮 polite 貌 appearance)

名詞の省略された用例“別個”や“這個”の用例では、それぞれ以下のような逐語訳である。

- 03-110 這個敝門生與[別個]不同 (與 with 別個 others 不 not 同 same)
 11-11 [這個]好那港腳船隻下了掃艙貨沒有 (這個 This (is) 好 good)

(4) “幾～”と“多少”

まず概数を表す“幾”の用例はいずれも東インド会社からのもので“few”或は“any”の訳語が付されている。

- 18-18 還要過[幾]日拜還了客方間 (few)
 Few days will be requisite for him to return his visits, after that he will be at leisure.
 19-19 或說學生這[幾]天有些賤恙在身 (few)
 He will perhaps ay, these several days I have been a little unwell.
 21-04 ……我想不用[幾]久也該回來了…… (any long time)
 I suppose no great length of time will elapse ere his return.
 21-45 主說老兄量廣還該嗑得[幾]杯 (a few)
 The host said. My brother, you can bear a great deal of wine; you must take a few cups more.

疑問を表すものでは“how much”と“how many”いずれの意味も充てられている。

- 09-02 一疋白布有[幾多]長 (how much)
 How long is a piece of white cloth?
 19-15 主人或請問客到京師[幾]年 (how many)
 Visiter. how many years it is since he came to Peking?

また“多少”も同様に“how much”と“how many”いずれの意味も充てられている。前2者はモリソンのテキストで、後者は『紅樓夢』からの引用である。

- 13-03 如今未定不如來了[多少] (how much)

16-01 中國有[多少]教門 (how many)

25-10 你這一鬧不大緊問起[多少]人來倒抱怨我輕狂 (how many)

同じく値段を尋ねる場面で、前者は『笑林広記』からの引用で、後者は東インド会社のテキストで棉花の取引に関するやりとりである。いずれも“幾何”“多少”に対する逐語訳は“how much”である。

29-03 官問價值[幾何] (The Mandarin asked how much was the price.)

09-01 你去問一包棉花的價錢[多少] (Master. Go and ask the price of a bale of cotton.)

これに関連して、数字の数えかたでは、桁がとぶ場合の“零”がある。意味するところは「～と端数の～」である。

09-04 價錢十兩[零]七錢 (價錢 Price 十 ten 兩 tales 零 odd 七 seven 錢 mace)

量詞とともに“多少”が使われる例もあるが、いずれも中国語の作品からの引用ではなく、モリソン或は東インド会社のテキストである。

05-11 紅樓夢書有[多少]本 (多少 how many 本 volumes)

10-10 鼻煙要[多少]斤 (多少 how many 斤 catty)

13-01 一包棉花有[多少]斤重 (多少 how many 斤 catty 重 heavy)

(5) 時間の表現

時点の疑問文では基本的に“幾時”を用いるが、逐語訳は“幾 what 時 time”と“幾時 when”に分かれる。“何時”1例は例外である。

02-04 你[幾時]到了廣東 (幾 what 時 time) ⇒ 02-05 我到了有半個多月

02-14 你[幾時]回南京去 (幾 what 時 time)

18-04 ……後又要去百許多客不知[幾時]回來 (幾 what 時 time)

21-03 長班順口就問去那裡可知道不知道有說下[幾時]回來沒有 (幾 what 時 time)

08-21 [幾時]纔回本國 (幾時 when)

11-05 大人[幾時]回衙門 (幾時 when)

04-04 豈敢彼此藉福尊駕[何時]到了 (何 what 時 time) ⇒ 04-05 昨日纔到

時点は“～鼓”或は十二支で表し、付録の解説で十二支に英語で説明を加えている。“～鼓”は“～更”に同じで、旧時に日没から夜明けまでを2時間毎に時刻を知らせるために鳴らした太鼓のことで、“頭鼓”或は“頭更”は午後7～9時頃で、“五鼓”或は“五更”は午前3～5時頃である。

- 18-04 ……今早四鼓時便進朝裡去修理自鳴鐘…… (今 this 早 morning 四 four 鼓 drum 時 time)
- 18-23 ……為便帶家書的人明早五鼓就要起身…… (明早 tomorrow morning 五 five 鼓 drum)
- 18-05 ……往常午時初回…… (往 going 常 constantly 午 noon 時 time 初 begin 回 toreturn)
- 18-05 ……今日事多必竟來遲些在未時來得 (在 at 未 one or two 時 time 來 come 得 can)

時段は“時辰”で表すが、長さは60分間ではなく120分間である^⑩。

- 22-03 各處水草接去救火後至三個時辰救息 (三個 three 時辰 hours / six hours)
- 23-10 後至兩三個時辰將火救息 (兩 two 三個 three 時辰 hours / five or six hours)

(6) 日にちの表現

“～日” (34例) と“～天” (12例) の両方がある。南方の方言では“前日”が「おととい」を指すが、ここでの用例は「以前」の意味で、「おととい」を表す用例は無かった。

- 03-32 前日釋放是下官 (前 Former 日 day / On a former day)
- 04-05 昨日纔到 (昨日 Yesterday)
- 04-14 今日故人相會屈駕此處談談心事如何 (今 To- 日 day)
- 04-16 既如此不敢強留明日我到來回拜 (明日 to-morrow)
- 10-12 ……這個鼻煙昨天的不如今天的好…… (昨天 yesterday 今 to- 天 day)
- 14-16 我明天自然清送來賬…… (明天 to-morrow)
- 11-10 ……後天那兩艇貨必到省城了 (後天 the day after tomorrow)

(7) 比較の表現

比較の表現については、全体的に“比”を使った例文が多く現れる。

- 10-09 還要一疋紫花布比這個好…… (比 compared with 這個 this 好 good)

また、この会話集では比較表現のために特に1章を設けており、第7章で8つの例文で“還好、好過、不如～好、好不過、過于”など、“比”以外の比較と関連する表現を纏めて紹介している。また、その他の章には“更好”等の用例もある。

- 07-01 今年的茶還好嗎 (還 still 好 good / This year's Tea is pretty good.)
- 07-02 舊年的茶好過今年的 (好過 better than / was better than that of this year)
- 07-03 三年前的茶還更好 (還 still 更 more / was still better)
- 07-04 今年的綠茶我看不如黑茶好 (不 not 如 as / is not equal to the Black.)
- 07-05 工夫茶是極好 (極 extremely / is extremely good.)

- 07-06 武彝茶[好不過的] (好 good 不 not 過的 passed / cannot be surpassed.)
 07-07 到底熙春茶[過于]各樣的茶葉 (過于 passes 于 by / is superior to every other kind.)
 07-08 別的茶都[平常] (平 even 常 common / is but common.)

3. 2. 2 動詞とそれに関連することがら

(8) 動詞の“没”

南方では動詞としての“没”を単独で用いない傾向があるが、単独で用いる例は“没空”の2例のみである。2つ目の用例は『綴白裘・一文銭』からの引用の七言の歌詞にあたる部分である。

- 18-20 ……偶然不曾出門方好[沒]空走…… (沒 not 空 in vain 走 walk)
 26-31 口食身穿[沒]擺佈歌唱詞曲度朝昏 (口 Mouth 食 eat 身 body 穿 put on 沒 no 擺佈 provision)

それに対して“没有”は比較的多く、つぎのような用例がある。

- 01-08 ……洋船亦未曾到得所以[沒有]甚麼生意 (沒 not 有 have 甚麼 any of consequence 生意 trade)
 18-17 ……[沒有]空閒[沒有]一日得在家裡 (沒 not 有 have 空閒 leisure 沒 not 有 have one 日 day)
 21-49 客說愚弟[沒有]甚麼東西帶來…… (沒 not 有 have 甚麼 any 東西 thing 帶 bring 來 come)

(9) 使役動詞

使役を表す動詞では“叫”の用例が多く、いずれも逐語訳では“call”が充てられている。

- 02-23 ……請你[叫]你的跟班到我船上找我來 (請 beg 你 you 叫 to call 你的 your 跟班 servant 到 to go to…)
 I will thank you to send your servant to my boat to call me.
 10-01 你[叫]買辦來 (叫 call the 買辦 Compradore 來 come)
 Call the Compradore.
 21-27 主人[叫]管家預備酒……又[叫]跟班在傍侍酒
 (叫 called 管家 Steward 預備 to prepare 酒 wine… 叫 called 跟 heel 班 waiters 在 at)
 The Host called the Steward to prepare wine, . . . and directed the Servants to attend and serve the wine.
 24-20 [叫]船家搭了扶手 (叫 Called 船家 boatman 搭了 to place 扶 support 手 hands)
 They called to the boatman to lay a pole across for their hands.

“讓”については、3例はすべて第21章にあり、逐語訳ではいずれも動詞“yield”で「ゆずる」の意味を充てている。このうち2例は全文訳で“point”の「(ひと) ~を […に] 向かせる」や、“let”の「させる」の意味を充てており、使役の意味の用例である。

21-24 主人定了位讓客首位…… (讓 yield 客 the Guest 首 head 位 seat)

The master fixed the seats, and gave to the Guest the chief place.

21-27 主人……讓客坐下…… (讓 yield 客 the Guest 坐 to sit 下 down)

The Host . . . also pointed the Guest to his seat,

21-47 ……主人讓客入書房坐 (讓 yield 客 Guest 入 to enter 書 book 房 room 坐 sit)

and the Host led his Guest to the library, where they sat down.

また、“着”については、白話作品から引用されている章に多くの用例が見られ、逐語訳では“send, order”，全文訳では“send, order, tell”が充てられている。

21-49 ……明天着人送幾桶來給老伯用 (着 send 人 man 送 present 幾 a few 桶 tubs 來 come)

. . . I will to-morrow send a few tubs of them for the use of my Venerable Uncle.

24-05 ……有張秀芝着人送書來… (有 have 張秀芝 Ch’hang-sew-che 着 send 人 man 送 present 書 book 來 come)

. . . Ch’hang-sew-che, sent a Person with a letter . . .

26-21 着他們進來 (着 Order 他們 them 進來 to come in)

Tell them to come in.

26-22 吓員外着你進去 (吓 Yes 員外 Squire 着 orders 你 you 進去 in go)

[To the beggars] Come here. The Squire orders you to come in.

このほかに“請” (請+人称+動詞) の用例が多数ある。「請+人称」と「請+動詞」の場合の逐語訳は“pray”が充てられるが、「請+人称+動詞」の場合は、逐語訳では“beg, request, thank”が充てられている。いずれも全文訳は“I will thank you to ~” 或は“I will trouble you to ~”，“May I trouble you to ~” となっている。

15-01 請你念這一篇書 (請 Thank 你 you 念 to read 這 this 一 one 篇 page 書 book)

I will thank you to read this page.

02-23 ……請你叫你的跟班到我船上找我來 (請 beg 你 you 叫 to call 你的 your 跟班 servant 到 to go to)

I will thank you to send your servant to my boat to call me.

02-25 ……再者而今請你家人在我船上叫個人來 (請 beg 你 your 家人 servant 在 at 我 my 船上 boat 叫 call)

May I trouble you to send your servant to go to my boat and call for a man to come here.

03-74 請皇甫爺出來 (請 Request 皇甫 Hwang-foo 爺 Mr. 出 out 來 come)

Request Mr. Hwang-foo, to come out.

14-03 請你拿些與我看 (請 Beg 你 you 拿 take 些 a little 與 give 我 me 看 look)

I will thank you to give me some to look at.

14-09 ……請你着人拿去我家裡…… (請 beg 你 you 著 send (order) 人 man 拿 take 去 go)

I will thank you to sent it to my house.

14-11 我忘了請你打開我看…… (請 beg 你 you 打 strike 開 open 我 I 看 look)

I forgot: I will trouble you to open it out.

14-16 ……請你開紙賬目單及收單與我舍下…… (請 beg 你 you 開 open (on) 紙 paper)

I will thank you to send the bill and a receipt to me.

21-25 ……請老伯坐首位纔是…… (請 requested 老 old 伯 uncle 坐 sit 首 head 位 seat 纔 then 是 right)

I beg that my Venerable Uncle (your Father) take the chief place, and then it will be well.

*31-10 奉老夫人之命着我來請先生赴席 (着 sending 我 me to 來 come to 請 invite 先生 Master 赴 to go 席 table)

I have received my husband's order to come and invite you to dinner.

(10) 受け身

『通用漢言之法』でモリソンは“被”や“受”によって動詞の受動態を説明した上で、「中国語では受身の表現はあまり使われない」と解説している¹⁷⁾。会話集でも吏文にある“被”の1例のみで，“受”は用例がない。

23-11 船主使水手人巡查看守沒有被^被人偷去一點東西 (被 receive 人 men 偷 steal 去 go)

The Captain sent People to watch, so that not the least thing was stolen.

(11) 疑問文の形式

全体を通して“嗎”は1例しかなく，“麼”は16例であった。この他には，“有(V)～沒有”や“V了～沒有”がみられる。

11-03 那隻港腳船有^有紅牌出^{沒有} (有 have 紅 red 牌 document>clearance 出 issued 沒 not 有 have)

Has that Country ship got her Grand Chop (clearance) yet?

15-06 澳門有^有書買^{沒有} (有 have 書 books 買 to buy 沒 not 有 have)

Are there any Books to be bought in Macao?

16-11 儒教^有拜神像^{沒有} (有 have 拜 worship 神 god 像 image 沒 not 有 have)

Does the Sect Joo, of the learned, worship images or not?

21-03 ……^有說下幾時回來^{沒有} (有 have 說 speak 下 down 幾 what 時 time 回 return 來 come 沒 not 有 have)

Did he say when he would return?

11-07 ……我本國船起貨完^{了沒有} (起 take up 貨 cargo 完了 finished 沒 not 有 have)

Have our ships delivered all their cargo, or not?

11-11 ……那港腳船隻下^了掃艙貨^{沒有} (下了 set down 掃 sweep 艙 hold>last boat load (of) 貨 goods 沒 not 有 have)

Has the country Ship sent down her Chow-chow Chop yet?

(12) 理由を尋ねる疑問詞

“為何”がいずれも白話作品からの引用に用例(9例)がある。“為甚麼”は8章の船に関する会話の2例のみで、逐語訳は“為 For 甚麼 what”で2語の扱いである。

03-126 ^{為何}不去 (為何 Why 不 not 去 go / Why did he not go?)

03-138 ^{為何}掉下淚來 (為何 Wherefore 掉 bring 下 down 淚 tears 來 come)

26-12 ……他那裡聽見你^{為何}喊叫而來 (你 you 為何 wherefore 喊叫 call aloud 而 and 來 come)

31-22 先生^{為何}看了地下只管走來走去 (為何 why 看了 look 地 ground 下 below)

08-10 ^{為甚麼}緣故 (為 For 甚麼 what 緣故 cause)

08-15 ^{為甚麼} (為 For 甚麼 what)

(13) “知道”と“曉得”

“知道”

02-06 果然是我今日纔聽說你到了若我先^{知道}早前拜你去 (know)

11-09 那兩隻艇到了城你即告訴我^{知道}就是了 (know)

21-03 長班順口就問去那裡可^{知道不知道}有說下幾時回來沒有 (know)

“曉得”

18-16 我相公回來若^{曉得}相公來必然要相會 (know)

24-09 王雲道^{曉得}不消母親吩咐 (know)

24-15 王雲道孩兒^{曉得} (know)

同じ場面での二人のやり取りで、“知道”と“曉得”が使われているところもある。

26-01 倘有孤貧到來即便報我 **知道** (know / If any Poor people come, let me know immediately.)

26-02 **曉得** (understand / Very well.)

ちなみに“覺得”は、25章の『紅樓夢』からの引用にある1例のみである。

25-06 因問道你心裡覺得怎麼樣 (你 your 心 heart 裡 within 覺得 feel 怎麼 what 樣 smanner)

(14) 動詞「出発する」

“起身”が6例あるが、“動身”は無い。

02-15 新年之前我不能**起身** (起 raise 身 body / I cannot go before the next year)

18-26 就要**起身** 明日下午來領書 (起 to raise 身 body / That he wants to set off; and that...)

18-27 或又說他明日要收拾**起身**…… (收拾 to prepare 起身 to set off / to pack up and set off)

24-12 王雲聞言即**起身**換了巾服 (起 up 身 body / rose immediately, changed his cap and clothes)

(15) 「食べる、飲む」を表す動詞について。

飲食の動詞では、Medhurstの会話集では「食」については、“食”“喫”や“吃”が混在しているが、モリソンは“吃”のみを採っている。敬意表現では“用”の用例もある。また、「飲」に関しては、“喝”の用例がなく、“嗑”のみを用いている。

21-18 主說務須留駕**吃**個便飯不要嫌棄寧可先打發轎子去待今晚我們取轎子送你回李翰林家就是

21-47 主人叫起飯左右遞飯上來**吃**完散席主人讓客入書房坐

21-16 主答噯呀老兄一場到舍下何必速回請寬坐著人辦些酒**嗑**杯略表寸心

21-44 客說罷了我**嗑**醉了

21-45 主說老兄量廣還該**嗑**得幾杯

21-48 小孩子倒茶**嗑**了茶裝煙倒水洗臉再拿檳榔

18-23 ……至今老爺未**用**早飯 (用 use (take) 早 morning 飯 meal / My Master has not yet taken breakfast.)

(16) 動詞「する」

“do, make (する)”の意味の動詞では“做”が若干あるが、“幹 (干)”の用例は無い。

- 02-22 好呀就是這樣^做 (就是 just 這樣 thus 做 do / Very well, I shall just do so.)
 06-03 他而今在行裡^做甚麼 (在 in 行裡 Factory 做 do 甚麼 what / What is he doing?)
 08-13 這個不能穀亦要^做得對 (亦 also 要 want 做得 made 對 uniform / it should be in proportion.)

また“作”は“作揖”(3例)と、以下の用例ほか第15章の限られた文中でしか使われない。

- 15-10 上論下論是孔夫子^作的 (作的 making)
 15-12 中庸是子思所^作 (所 that which 作 made)

3. 2. 3 虚詞の幾つかについて

(17) “了”について

本文には多数“了”があるが、ごく少数の例外を除いて、いずれも前の動詞或は形容詞とひと組になって、モリソンの言うところの複合語の扱いで逐語訳が付されている。

- 01-09 ……洋船如何來得遲往年已經早到了…… (已經 have 早 earlier 到了 arrived) 已經～了
 01-13 是呀若船早到就好^了 (就 then 好了 well) 若～就～了
 01-13 俟船到^了再來幫趁 (到了 have arrived) 俟～了再～
 02-04 你幾時到^了廣東 (到了 come to 廣東 Canton)
 02-05 我到^了有半個多月 (到了 arrived 有 have 半個 half 多 more 月 moon)
 04-15 多謝^了我如今要拜別友…… (多 Many 謝了 thanks / I am much obliged to you)
 11-07 ……我本國船起貨完^了沒有 (起 take up 貨 cargo 完了 finished 沒 not 有 have)
 11-09 那兩隻艇到^了城你即告訴我知道就是^了 (到了 arrive at… 就是了 just so)
 26-48 多謝員外老夥計天要下雨^了 (下雨了 rain / it is going to rain.)

中国語の表現が同じであるにも拘らず扱いの異なるものもある。

- 01-15 好說如此告辭^了 (告 announce 辭了 leave)
 04-15 ……改日再來領教告辭^了 (告辭了 Good bye / Good morning)

前述の通り、以下のように“了”が単独で扱われるのはむしろ例外である。

- 04-06 別卻多時^了 (別 Separated 卻 indeed 多 much 時 time 了 have been)
 13-03 如今未定不知來^了多少 (不 not 知 know 來 came 了 has 多少 how much)

(18) 否定副詞

“没”が少なく、“没有”を使う傾向がある。若干“未”の用例もある。ちなみに“未”

はメドハーストの初版でも3例（“弄飯未便”“物未上岸”“未成包”）があるが、2版では消えている。

- 22-04 燒去房屋貨物甚多幸^{沒有}燒壞人（没 not 有 have 燒 burntand 壞 destroy 人 men）
 23-11 ……巡查看守^{沒有}被人偷去一點東西（没 not 有 have 被 receive 人 men 偷 steal 去 go）
 21-26 ……大小兒外館讀書^未回（未 not 回 return）

(19) 禁止の副詞

禁止の副詞では“不要”があるが、逐語訳で“不要 do not be”のように複合語として扱っている例は少なく、ほとんどが“不 not 要 want”となっている。“別”や“毋”，“勿”の用例は無く，“別”はいずれも「べつ」の意味での用例である。

- 03-184 ^{不要}悲傷（不要 do not be 悲傷 grieved / Do not be grieved.）
 03-145 大人^{不要}罵是學生的敵同年（不 not 要 want 罵 to rail / Do not rail, Sir.）
 15-03 請寫正字^{不要}減筆寫的（不 not 要 want 減 lessened 筆 pencil 寫的 writing / and not the contractions.）
 21-18 主說務須留駕吃個便飯^{不要}嫌棄……（不 not 要 want 嫌 dislike 棄 eject / Do not reject it.）

(20) 介詞

共同を表す介詞は“與”の用例がほとんどで，“同”は1例で、メドハーストのほとんどが“同”であるのとは著しく異なる。また，“跟”や“和”の用例は無い。

- 03-110 這個敵門生^與別個不同（與 with 別個 others 不 not 同 same / is different from others）
 03-127 他心上狐疑^與一個朋友商議（與 with 一個 a friend 商議 consulted / consulted with a friend）
 05-13 者字^與這字同音（與 with 這 chay 字 character 同 same 音 sound / pronounced the same as 這 chay）
 05-01 先生請坐^同我看書一會（同 with 我 me 看 look 書 book 一 a 會 while / read with me a little）

介詞「～に」の意味には“與”と“給”がある。動詞「あげる」は“給”のみである。

- 08-14 我^與你說那隻船是第一等的（我 I 與 to 你 you 說 say / I tell you that）
 21-49 ……明天着人送幾桶來^給老伯用（給 give 老 old 伯 uncle 用 use / for the use of my …）

- 25-13 向案上斟了茶來^給襲人漱了口 (給 gave 襲人 Sēih-jin 漱了 to wash 口 mouth / to give)

吏文から引用したテキストでは以下のような“與”の用例がある。

- 23-01 嘉慶十二年九月英吉利 (口偏あり) 國公司班上具稟一封^與粵海關說
(具 presented 稟 address 一封 one 與 to 粵 Canton's 海關 Hoppo, 說 saying)
- 23-04 但兵船例向不能進口所以大班^與各班上公議
(所以 therefore 大班 the Chief 與 with 各 all 班上 the Supercargoes 公議 consulted together)

“替”は1例のみ。

- 21-51 客起身告辭^替我在老伯跟前告辭 (替 For 我 me 在 at 老 old 伯 uncle 跟 heel 前 before 告 announce 辭 taking leave / Say good bye, for me to your Father.)

(21) 連詞

“與”のみで，“同”“和”“連”の用例は無い。以下の用例は、全文訳では“and”となっているが、逐語訳では他の“與”と同様に“with”となっている。

- 16-20 世間^與來生都有賞罰…… (世 The world 間 in 與 with 來 coming 生 life)
Both in this life, and in the life to come.

3. 2. 4 その他のことから

(22) 兒化

語尾に“兒 urh”が表記されたものが多数あるが、ほとんど全てが白話作品からの引用に用例があった。()内はいずれも発音表記と逐語訳である。

- 03-09 家爺閱卷辛苦懶於接見止留^{帖兒}容日答拜 (tēē urh 帖兒 card)
- 03-36 未免有幾句^{話兒}談談那有不坐之理請請坐 (keu hwa urh 句話兒 words)
- 03-91 哪告個^{坐兒}告個^{坐兒} (tso urh 坐兒 sit)
- 24-05 ……告母親得知^{孩兒}適往門前問步……明日請^{孩兒} (hae urh 孩兒 child)
- 26-49 多謝員外阿呀^{老頭兒}天要下雨了快些走罷 (laou t'how urh 老頭兒 old fellow)

(23) 地名

本文中の地名は“Pking, Nanking, 蘇州”と豆の産地“江南”を除けば、廣東周辺に限られる。

- 02-14 你幾時回^{南京}去

- 19-15 主人或請問客到[京師]幾年客或說自某年到有十年前聞先生高名
 21-49 ……只是昨日帶了些[江南]白扁豆仁在洪發行明天著人送幾桶來給老伯用
 5-06 [澳門]有書買沒有
 21-01 [蘇州]有個舉人或秀才或一個職員座轎來拜[廣東]的人到門前就住了轎……
 21-10 主說我前兩年往[蘇州]得見尊顏盤旋數日多蒙優待後因賤事回[粵]就隔別這麼久
 23-08 船內叫喊救火司事人速即使人上省如大班請大城水車下[黃埔]救火

“省城”4例はいずれも Canton を指している。また、外国の国名については「英吉利(08-02 イギリス)」、「花旗(11-02 アメリカ)」のみで、国籍“～人”の用例は無い。

(24) 商売、物品に関係する語彙

「寶行、生意、洋船、夷人、洋貨、買賣、零物、起價、事頭公 (shopman)、江南白扁豆仁、洪發行、綠茶、黑茶、工夫茶、武彝茶、熙春茶」などの幾つかの例に限られており、まだメドハースト以降の会話集のように充実していない。

4. 小結

この会話集は、発音に関しては『通用漢言之法』が定義するところの官話の発音に基づいて英語音に即して表記されている。但し、語頭の a, e, o の前の ng (或は g) は若干の例外を除いて殆ど表記されていない、など若干の相違はある。また、『通用漢言之法』にはない無気音と有気音の区別や入声音の表記があり、[p] の無気音・有気音の区別がないことを除けば、後のメドハーストやウェードの発音表記とも、基本的には同じである。

語彙・文体に関しては、テキストの出典が、戯曲・笑話・小説などの白話の文学作品、東インド会社提供のもの、モリソンによるものを集めているため、テキスト全体を網羅した特徴は見られない。但し、特に「3.2.1」にあるようなことがらはモリソンの中国語観を象徴していると言えるだろう。そして、官話に基づいて発音を表記した姿勢と合わせて考えてみても、モリソンが官話或は白話と認識していた語彙を幅広く扱おうとしたと考えられる。アヘン戦争後のメドハーストの会話集で、国名、地名や商売・物品に関する語彙が飛躍的に増えているのに比して、意外にも内容と語彙に国際的な感じが無い。時代がまだそこまでの用語を必要としていなかったためか、専ら外国人が中国の慣習に慣れることを想定したものであったようだ。

モリソン以降にも続々と会話集が出版されたが、いずれも国際間の商取引が活発化した時代を反映して、類似した分野の内容の会話と文で構成される場合が多い。テキスト間の表現の違いの比較を通して、年月の経過にともなう表現の変化がみられることも可能であろう。

参考文献

- Morrison 1815 『通用漢言之法』
 Mrs. Morrison 1839 *Memoirs of the life and Labours of Robert Morrison, Compiled by his Widow, vol. II, Long II man, London*
 Medhurst, 1844, *Chinese Dialogues, Questions, and Familiar Sentences*
 Wylie 1867 *Memorials of Protestant Missionaries to the Chinese, American Presbyterian Mission Press*
 伊伏啓子 2006 「近代西洋人による中国語文法の研究 —「量詞」について—」
 『関西大学アジア文化交流研究センター紀要』第2号
 伊伏啓子 2008 「馬禮遜的《通用漢言之法》1815」モリソン来華200周年記念国際学術シンポジウム予稿
 内田慶市 2001 『近代における東西言語文化接触の研究』関西大学出版部
 何群雄 2000 『中国文法学事始』三元社
 周振鶴 2007 「十六至十九世紀西方汉语研究的文献学管見」第2回世界漢語教育史学会予稿
 蘇精 2000 《馬禮遜的他的中文教師》
 内藤正子 1995 「R. モリソンと J. マーシュマンの中国文法書」『日本中国学会報』第47集

- ① 蘇精 2000 《馬禮遜的他的中文教師》によると、容三徳はモリソンの1人目の中国語教師である。中国広州近郊の出身で、英語を学ぶために当時ロンドンに滞在していた。1805年に2人はロンドンで知り合い、1820年まで双方の往来は15年間続いたという。都田 1974などは、その名を「董三託」と記している。
- ② 同書の出版の経緯、内容については何群雄 2000 『中国文法学事始』に詳しい。
- ③ モリソン夫人による伝記 (*Memoirs of the life and Labours of Robert Morrison, Compiled by his Widow, 1839, London*) は、蘇精 2000 及び 2005 によると、細かい部分では正しくない箇所もあるということであるが、モリソンの生涯を網羅した 1094 ページにわたる大部の伝記である。
- ④ 序文の原文は以下の通りである。“The translation of the following Papers was made by the Rev. Robert Morrison, at the commencement of his Chinese Studies.”
- ⑤ Medhurst 1844 の会話集序文の原文の当該部分は以下の通りである。
 Morrison’s Dialogues having been long out of print, and Commercial Intercourse being now much more extended than when that work was published, a volume like the one now presented to the public was found to be a desideratum.
- ⑥ このほか「17章 *Ambassadour introduced* (説唐后伝), 24章 *A Spring Ramble* (英雲夢伝), 25章 *A Person ill* (紅樓夢), 26章 *Master and Beggars* (綴白裘・一文銭), 27章 *Tale of a covetous Mandarin illustrated* (笑林広記), 28章 *Mandarin receiving Bribe* (笑林広記), 29章 *Mandarin and Goldsmith* (笑林広記), 30章 *Doctor taking leave of his Neighbours* (笑林広記), 31章 *Poor Woman inviting a Person to Dinner* (西廂記・請宴)」がある。
- ⑦ このほか「6章 *With a Servant*, 7章 *Example of the Degrees of Comparison*, 8章 *Respecting a Ship*, 9章 *Respecting Cotton*, 10章 *With a Comprador*, 11章 *With a Linguist*, 12章 *Respecting the Seizure of a Thief*, 18章 *On the Mode of Visiting in China*, 19章 *Mode of Visiting in China, (continued)*, 20章 *Mode of Visiting in China, (continued)*, 21章 *Mode of Visiting in China, (continued)*, 22章 *A Fire at Canton*, 23章 *Burning of a Ship*」がある。
- ⑧ このほか「4章 *A Tradesman and Scholar*, 5章 *With an Assistant in Learning the language*, 13章 *Respecting Cotton*, 14章 *On Purchasing Silk*, 15章 *With a Teacher of Chinese*, 16章 *Respecting the Religions of China*」がある。
- ⑨ 伊伏 2008 の第1章「《通用漢言之法》の基本内容」を参照した。
- ⑩ 内田 2001, p363 によると、Hemeling の表記は Wade をもとにしている。Hemeling 1902 の *The Nanking Kuan Hua* でも表記に差異があるものの、“[ch, ch⁴], f, h, hs, j, [k, k⁴], l, m, [p, p⁴], s, sh, ss, [t, t⁴],

[ts, ts'] ch, ch', w, y”で声母は同じく23種とする。

- ⑪ Medhurst の *Chinese and English Dictionary* (1842–1843) は、韻母を「a, ä, ae, an, än, ang, äng, aou, ay, / e, äa, äae, äang, äaou, äay, äë, äen, ei, eih, en, eö, eu, ëüë, ëuen, ëüh, ëun, ëung, ew, / in, ing, ih / o, ö, oo, ow, / üë, üen, üh, un, ung, urh, uy, / wa, wä, wae, wan, wän, wang, wäng, wei, wo, wö, wüh, wuy, [ze]」の55種としている。このほか [y] で始まるものと該当する漢字は「ya 鴉, yang 洋, yaou 要, yay 也, yen 鹽, yew 有, yih 一, yin 因, ying 英, yao 藥, yu 與, yü 魚, yuh 育, yun 運, yung 用, yüeh 月, yüen 遠」である。
- ⑫ 『通用漢言之法』p87–101 で人称代詞の解説があり、用例が詳しく紹介されている。
- ⑬ 2章の脚注 (p12) では“舍 A cottage 府 A superior mansion”が“舍下 My house 府上 Your house”となることを説明している。
- ⑭ 脚注の原文は以下の通り (p1–2)。
- In Chinese, though is be a general rule, that each Character and Syllable, has a determinate sense affixed to it; yet, cases are numerous, in which two or more Characters are joined in the apprehension of the reader, and form in fact, a compound word, similar to the Polysyllabic Languages of the West. Generally the sense of the compound arises naturally from the several component Characters; at other times, the sence of each is much obscured, or entirely lost. 得 Tīh, “To obtain,” 猥 Hān, or 很 Hān, “The noise of dogs fighting, or people wrangling,” taken together, make the Superlative degree, and affords an instance of an obscure compound.
- ⑮ 伊伏 2006 の第2章 (8) の『通用漢言之法』の量詞に関する記述と原典の訳文を参照。ここでは、さらにモリソンが「量詞」の不定冠詞的用法や名詞の特性を示す機能など、新しい説明を行っていることを特に指摘している。
- ⑯ 本文に以下の脚注があり、時段の表現の相違について注意を促している (p177)。
- One She-shin, is equal to two European hours.
- ⑰ 内藤 1995, p214 を参照した。